

MY
ROSES
マイローズ®

育てよう、プレミアムなバラ バラへのご褒美 「マイローズシリーズ」

いい土が
できました!

大切なバラを美しく咲かせたいロザリアンの頼れるラインナップとして人気の「マイローズシリーズ」に、こだわり配合の「ばらの培養土」が登場しました。この培養土を詳細にわたって監修されたのは、「趣味の園芸」講師でもおなじみのローズアドバイザー、有島薫さん。バラの管理がトータルにできる「マイローズシリーズ」で、たっぷり咲かせるテクニックを教えてくださいましょう。

ありしま・かおる

バラ栽培家。幼いころから祖母の影響で、バラに親しんできた。現在は東京都内の園芸店に勤務のかたわら、ローズアドバイザーとして活躍中。

このリーフレットは、NHK「趣味の園芸」（2017年5月号）に掲載したタイアップ広告を再構成したものです。

住友化学園芸

美しさに、ありがとう。

MY
ROSES
マイローズ®

ほう び
ばらと私にご褒美を。

2017
New

病気防除のポイントは殺菌剤の
ローテーション散布!
パッケージの
種類マークを
ご確認ください

ばら専用セレクション
マイローズシリーズ



ペニカMファイン。スプレー
殺虫殺菌剤



マイローズ。殺菌スプレー
殺菌剤



ペニカ。R乳剤
殺虫剤



マイローズ。ばらの肥料
肥料



マイローズ。ばらの培養土
用土

植える 育てる 楽しむ 全12種類コンプリート



くわしくはこちらへ

△使用に際しては必ず商品の説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。(マイローズ、eグリーンコミュニケーションは住友化学園芸(株)の登録商標)

eグリーンコミュニケーション
e-green communication



www.sc-engei.co.jp

住友化学園芸株式会社

〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町1-8

●商品についてのお問い合わせ先 TEL03-3663-1128 (9:30~12:00/13:00~16:30/土・日・祝日を除く)



パッケージをチェック!

「プレミアム」。 その理由は?

この培養土のなかに、どんなプレミアムな秘密が隠されているのでしょうか。

「ばらの培養土」は

バラをしっかりと支えるために、ある程度の重さを保持。
くずれにくい焼成赤玉土、熟成馬ふん堆肥、腐葉土、
鹿沼土など良質な資材をバランスよく配合。

こだわりの成分から3つをピックアップ



「腐植酸苦土」
土壌改良に有効な
土壌有機物、腐植
酸に、光合成に不
可欠でリン酸の働き
を促すマグネシウム
をプラス。



「鉄ポリフェノール
(特許取得)」
欠乏すると生育に悪
影響を及ぼす鉄分
を、ポリフェノール
で吸収しやすく安定
させたもの。



鉄欠乏症の症状で、色
が悪くなったバラの新
葉。



「有用微生物資材」
肥料分を保持したり、
吸収できない形の成
分を、植物が利用で
きる形に分解させたり
する微生物。



有島プレミアム



活力剤はボトルを軽く振
り、成分の沈殿を均一
にしてから計量し、あらかじめ水を入れたジョ
ウロに投入するのがコツ! (泡立ちを防ぐため)

培養土を湿らせてから植え付けると、植え付け後に与える水が均一にしみわたり、根が部分的に乾くのを防げます。バラに欠かせない各種微量元素を含む活力剤を水に加えておけば、植え付け後のダメージから素早く回復させます。



植え替え完成!

植え替えから7~10日
は、風当たりの強くない
明るい場所に置いて養
生しましょう。その後は
日当たりと風通しのよい、
バラが好む場所に
移動させて通常通りに
管理します。



4

100倍に希釈した「ば
らの活力剤」を、均一
にしっとり湿るぐらいの
量を3に注ぎ、移植ご
てでよく混ぜる。



5

4の元肥と活力剤入り培
養土を鉢に敷き、根鉢
の表面が鉢縁から3cm
ほど下にくるよう高さを
調整して、2の苗を植え
つける。



6

植え付けが終わったら、
土の表面にまんべんなく
水やりをする。この水に
も「ばらの活力剤」を加
えて与えておけば、根つ
きがグッとよくなる。



1

鉢から抜いた根鉢の底
の土を5cm程度ハサミ
で切り落とし、根鉢の
上面、側面の古くなっ
た土もこそぎ落とす。



2

新たに植える鉢に仮に
据えて、根鉢が2回り
程度、小さくなっていれ
ばOK。



3

「ばらの培養土」に元肥
として、適量の粒状肥料
「ばらの肥料」を加える。
10号鉢(直径30cm)
なら、70gが適量。

お疲れさま! 花後のバラは プレミアムに植え替えよう

4~5月に入手した開花鉢は、蕾が少なくなり、株全体の2/3程度の花
が終わったところを目安に植え替えましょう。そうすると暑い夏を迎える前に
根や新芽を伸ばすことができ、秋の開花もいっそう期待できます。



花の咲いた枝は1/2、長い枝
なら1/3を目安に残し、すべ
ての枝をカットする。まだ咲
いている花は、切り花として
楽しもう。写真のバラは「ラ・
ドルチェ・ヴィータ」(デルバ
ール)。

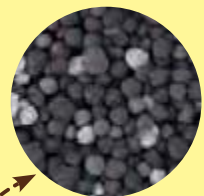
有島プレミアム



元肥は、植え付け後からのバラの生育に欠かせま
せん。「ばらの培養土」に「ばらの肥料」を加えたら、
肥料が1か所に偏らないようによく混ぜるのがコ
ツ!

「ばらの肥料」

土を活性化し、植物が肥料を吸
収しやすくする腐植酸と植物性有
機質がブレンドされた緩効性肥
料*。施肥後すぐから2~3か月
間、効果が続く。元肥、追肥と
もに使えて便利。



肥料のヒミツはリリースコントロールテクノロジー

バラの生育が盛んで栄養補給が必要な暖かい時期は、肥料成分の溶出がスピードアップ。
逆に生育が緩慢になる低温期は、溶出速度が穏やかに。つまり植物の生育に合わせて、
肥料自体が溶出スピードをセルフコントロールするので、施した肥料に無駄がなく、効率
よく肥料の効果に結びつきます。

鉢バラを みごとに咲かせる プレミアムな管理

「マイローズシリーズ」は、
美しく咲いてくれるバラへの
プレミアムなご褒美です。

バラのプレミアム栽培カレンダー（鉢植えの場合）

月ごとの生育状況		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		芽出し	生育	開花	開花	生育	生育	生育	生育・開花(四季咲きのみ)	生育	休眠	休眠	休眠
管理作業	植えつけ		新苗									大苗	
	植え替え												
	剪定						夏剪定					冬剪定	
	肥料（粒状肥料）	元肥・追肥	元肥(新苗)		追肥		追肥				植えつけ・植え替え時の元肥		
	肥料（液体肥料：追肥）												
	活力剤	春の開花準備	植えつけ	開花後の回復			夏バテ時の体力回復＋秋の開花充実						
発生しやすい病気	うどんこ病												
	黒星病												
発生しやすい害虫	アブラムシ類												
	チュウレンジハバチ												
	ハダニ類												
	クロケシツブチョッキリ (バラゾウムシ)												
	アザミウマ類												
	コガネムシ類（成虫）												
	コガネムシ類（幼虫）											～通年発生→	
	バラシロカイガラムシ											～通年発生→	

バラの害虫防除には



- 殺虫殺菌剤「ベニカXファインスプレー」ハダニ類、コガネムシ類成虫、うどんこ病、黒星病など、バラに発生しやすい病害虫に幅広く適用あり。アブラムシ類なら約1か月効果が持続。葉裏に届く逆さスプレーもOK。
[こんな薬剤もおすすめ]――
- 殺虫殺菌剤「ベニカXファインエアゾール」はアブラムシ類、ハバチ類に。殺虫剤「ベニカR乳剤」はハスモンヨトウ、ヒラズハナアザミウマにも使用できます。

うどんこ病、黒星病防除には



- 殺菌剤「マイローズ殺菌スプレー」うどんこ病、黒星病を予防し、治療します。生育中、何回でも使用でき、逆さスプレーも可能。梅雨入り前や台風、秋の長雨前などにも散布すれば、バラを病原菌からしっかり守ります。
[こんな薬剤もおすすめ]――
- 殺虫殺菌剤「ベニカXファインスプレー」●「ベニカXファインエアゾール」●殺菌剤「GFベンレート水和剤」は、●「マイローズ殺菌スプレー」とは作用性が異なるので、ローテーション散布を。

鉢土に直接まく薬剤も使いやすい



- 殺虫剤「オルトラン DX 粒剤」アブラムシ防除でおなじみの「オルトラン DX 粒剤」が、コガネムシ類の幼虫にも適用拡大し、使えるようになりました。株元にバラバラと散布しておく、根をかじってバラを衰弱させるコガネムシ類幼虫を防除できます。アザミウマ類、クロケシツブチョッキリ、チュウレンジハバチ防除にも効果あり。
[こんな薬剤もおすすめ]――
- 根をかじるコガネムシの幼虫退治には、殺虫剤「ベニカ水溶剤」も。2000倍に希釈した薬剤を、ジョウロで7月中旬～9月に月1回株元に注いで使用します。アブラムシ類、アザミウマ類の防除には2000～4000倍に希釈して株全体に散布。

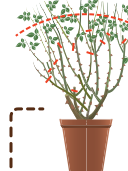
狭い場所での 薬剤散布にひと工夫

ベランダなどで薬液の飛散が気になるときは、株をポリ袋ですっぽり覆ってから株全体に散布。10分ほど待ってからポリ袋を外せば、じっくり薬剤が浸透します。



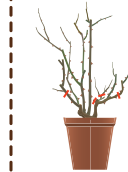
弱ったバラを 回復させる

日照不足や暑さ、寒さで弱ったら、「ばらの活力剤」の200倍希釈液を株全体にスプレー。ミネラルやアミノ酸が葉から直接吸収され、体力の回復を助けます。



夏剪定

夏の終わりに、傷んだ枝、枯れ枝、細すぎる枝などを切り除きます。葉を3～4枚残すのを目安に、ハサミを入れて樹形を整えます。



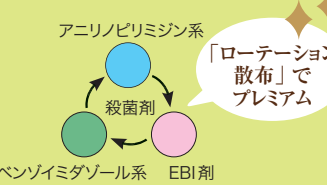
冬剪定

傷んだ枝、枯れ枝、細すぎる枝を切り、樹高の1/3～1/2の高さを目安に全体を剪定。まだ充実していない若い株では、体力温存のために細い枝も残します。

病気をしっかり防ぐコツは殺菌剤の「ローテーション散布」

同じ系統の殺菌剤を使い続けると、耐性菌が出現して効きにくくなるおそれがあります。対策として、作用の方法が異なる複数の殺菌剤を、ローテーション（輪番）散布するのがおすすめです。このページの薬剤の●ブルー、●グリーン、●ピンクのマークは、色ごとに同じ作用性であることを示しています。ピンクの次はグリーンなど、同じ色が続かないように交代で散布するのがコツ。散布する薬剤を選ぶときの参考にしてください。

- アニリノピリミジン系の働き
病原菌が、アミノ酸やタンパク質を合成するのを停止させる。
- ベンゾイミダゾール系の働き
病原菌が細胞分裂するのを停止させ、増殖させない。
- EBI剤の働き
病原菌が、細胞膜をつくって体を形成するのを停止させる。



●●●マークで表した殺菌剤の系統は、各商品にも同様にマークが記載されています。



www.sc-engei.co.jp
お問い合わせ TEL.03-3663-1128 (イニワ)

マイローズシリーズについて詳しくは▶



⚠ 使用に際しては必ず商品の説明をよく読んで、記載内容に従ってお使い下さい。